

中田かわら版 3月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会
制作：中田かわら版制作編集委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所
横浜市踊場地域ケアプラザ

ユメは東京マラソン

がんばれ！石井和夫さん（54）

セントラルスポーツ（中田西）から北に向かい長後街道までのおよそ500mの道路を、毎朝6時前から車いすで全力走行している男性の姿を見ることができるだろう。元旦の朝もいつもの通り元気よく走ってきたという。私も毎朝、6時25分ごろ家を出て近くの公園で行われる早朝ラジオ体操に出かけるが、よく出会うので自然に挨拶するようになった。

この人の名は石井和夫さん（54歳）。見て分かるように、車いすの障がい者だ。自ら語ってくれた病名は「多発性硬化症」

（multiple sclerosis, SM）。中枢性脱髄疾患の1つで脳、脊髄、視神経などに病変が起り多様な神経症状が再発と寛解を繰り返す疾患で発症原因はまだよく分かっていない。欧米人（白人）に多い病気だが、日本でも1万人くらいの患者がいる。発症年齢は10歳ごろから50歳くらいの間で平均27歳くらい。特定疾患に認定されている指定難病である。

この病気は何もしないと筋力や神経が委縮、退化するので、常に筋肉を動かしていなければならない。従って先の道を4～5往復は走る。いつ見てもシャツは汗でびしょ濡れだ。「道路を走っていて危険を感じたことはありませんか」

「それはもう、しょっちゅうです。特に道端はでこぼこで舗装が悪い」と石井さん。ある時、トラックに接触され5～6m飛ばされたことも。車はそのまま逃走、警察に届けたが聞いただけで、後は何もしてくれなかった。悩みもある。今使用している車いすは35万円くらいするが、全て自分持ち。「せめて半額でも補助してもらえれば助かる」。毎日これだけ走行していると車の傷みも早い。

「これほど熱心に運動するからには他に目的でも。」思わず聞いてみた。

「東京マラソン出たい、10キロではなく目指すのはフルマラソンです」。車いすに乗って行く障がい者のマラソン大会が2年後、東京で行われるが、問題は陸上競技用車いすレーサーだ。日本では「YACHIO」

（八千代工業、埼玉）が有名だ。パンフレットを取り寄せて驚いた。同社の最新のカーボンレーサーの値段が216万円、安いのも64万もする。これをどう調達するかが大きな問題である。出場資格も2時間20分以内を切らなければならない。タイムはともかく、競技に出るレーサーの資金が問題だ。

こういう石井さんの趣味は盆栽だ。今育てているのが松10本とサツキが約20本、その他。各地で行われる盆栽展にも見学したいが、車いすまで対応してくれる所はない。まだまだ障がい者にとっては住みいいとは言えない環境

だ。バリアフリーの普及が望まれている。アスリートを夢見る石井さんの努力に栄光あれ。

（編集委員・宮田貞夫）

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～



車いすでがんばる石井和夫さん



陸上競技用車いすレーサー

4月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【さくらまつり】

日時：平成 27 年 3 月 29 日(日)

10:00~15:00

場所：中田小学校
グラウンド

主催：中田小学校
同窓会



【卒業式・入学式】

卒業式

入学式

中田中学校	3月13日(金)	4月6日(月)
汲沢中学校	3月13日(金)	4月6日(月)
中田小学校	3月20日(金)	4月6日(月)
東中田小学校	3月20日(金)	4月6日(月)
葛野小学校	3月20日(金)	4月6日(月)
伊勢山小学校	3月20日(金)	4月6日(月)

■ 「くずの葉コーラス」

熱唱の 21 曲 「20 周年記念演奏会」

1月25日(日)、みなとみらい小ホールで行われた20周年記念演奏会は440席が瞬く間に埋まった。開場1時30分にも関わらず1時過ぎには早くも150人以上の長蛇の列ができたほど。平成5年5月、葛野コミュニティハウスで誕生した同コーラスは、土屋泰子(指揮)、中井美枝(ピアノ)両先生のたゆまぬ指導で堂々、ここまで成長した姿を発表する一大イベントでもあった。

地元をはじめこのように多くのファンに愛されてきた同「コーラス」。代表の稀代素子さんは「夢のような20年です。土屋、中井両先生と団員の熱い心が一つになってできた記念すべき演奏会。多くの皆さんの後押しがあって立派に成長しました」と感想を語ってくれた。

2時ちょうどに開演。オープニングの「翼をください」の曲で始まり第1~第4ステージまで19曲、正味85分の熱唱に会場からは限りない感動の拍手が贈られた。各ステージごと4~5曲歌われ、第1ステージはアニメ映画「耳をすませば」などから3曲、第2ステージは外国の民謡曲を中心に、第3ステージは女声合唱のための「マザー・テレサ愛のことば」から4曲。ここでは稀代さんの朗読が感銘を与えた。第4ステージでは日本の合唱曲「竹田の子守唄」、「ほたるこい」など5曲。ソプラノ、メゾソプラノ、アルトの33人の歌声は洗練され素晴らしいハーモニーだった。特にソプラノがしっかりしているコーラスは相乗的にメゾ、アルトも良くなって厚みが出て聞きごたえがあった。

アンコールで「アメイジング・グレイス」と「別れの歌」(サトウ・ハチロー作詞)の2曲が歌われたが、フィナーレではイキな演出がみられた。2曲目の「別れの歌」の途中から、2組に分かれたメンバーが、サヨウナラと歌いながら舞台から会場の両サイドに笑顔で、手を振りながら下りてきたのだ。場内はどよめき、まさにサプライズ。20周年記念演奏会を最後の最後まで楽しませてくれた「くずのはコーラス」2時間20分のオンパレード。感動と満足感を十分に与えてくれた。(宮田貞夫)



熱唱するくずの葉コーラスと当日のパンフレット(撮影 今島中親雄さん)



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス!!